

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	020100	2998 - 9046
事業コード	平和推進事業	企画総務課			
020108					
開始年度		昭和	60	年度	終了年度
		年度			
		グループ	基地・平和		

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針				
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 コミュニティ	節 国際社会	基本方針	多文化共生の意識を育む環境づくり
事業開始の背景	昭和59年、広島市から当市に原爆の熱線を浴びた広島市旧庁舎の敷石が寄贈されたことを契機に、当事業を開始した。その後、平成2年に所沢市平和都市宣言が制定され、当事業の拡充を図ることとした。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを観念的にではなく、より具体的に市民一人ひとりに理解してもらう。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	343,067 人
	全市民			平成 27 年度	343,321 人
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>平和祈念式典への参加: 一般公募した市民(中学生から大学生まで)とともに、8月に広島市または長崎市で行われる原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加し、原爆犠牲者を追悼するとともに平和の尊さを知ってもらう。</p> <p>平和祈念資料展の開催: 市役所市民ホール及び各地区のまちづくりセンターにて被爆資料や原爆の写真パネル等を展示する。</p> <p>平和を語る会(語り部派遣事業)の開催: 市内小・中学校及びまちづくりセンター等において被爆等体験者等による講話会を実施する。併せて、市民を対象とした被爆等体験者等による講話会(所沢市平和を語る会)を実施する。</p> <p>「平和推進事業のまとめ」の発行及び配布</p>				

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		436	485	486
	決算(見込み含む)		436	470	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)
	正規職員人件費	0.29 人	2,529	0.38 人	3,291
	事業費合計		2,965	3,761	
財源内訳	一般財源		2,965	3,761	486
	国・県支出金		0	0	0
	その他( )		0	0	0

「財源内訳」について  
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	平和祈念資料展の開催	平和祈念資料展の参観者数	人	3,500	3,500	3,500	5,000
		平和を語る会の開催	平和を語る会の参加者数	人	1,103	1,549	1,600	2,000

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	市の平和推進事業にご理解いただいた人数	%	目標値	100	100	100	100
				実績	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	戦後70年の節目の年であったことから市内小・中学校及び市民を対象とした「平和を語る会」の実施回数を3回増やした。また、市民を対象とした語り部による講話会「所沢市 平和を語る会」では、開催方法等を見直した結果、参加者数が増加した。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向後の性	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	戦後70年以上経過し、戦争体験者の高齢化・減少が懸念されている中、実体験による講話により、戦争を二度と起こしてはならないという思いをこれまで以上に伝えていく必要があるため。
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	戦争体験者、被爆者の高齢化が進む中、一人でも多くの若年層者に戦争の悲惨さや命の大切さを伝える必要があるため、平和の語り部事業の回数を増やしていきたい。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性		
	昨年、戦後70年の節目の年を迎えたことで、市民対象に「戦後70年 所沢市平和を語る会」を開催し、好評であったことから、今年も継続して市民向けの講話会を開催する。		平和の尊さや命の大切さは、次世代を中心に伝える必要があることから、今後も事業を充実させながら、継続的に実施する。		
評価日	H28.8.5	評価者職氏名	基地対策室長 菅原 聖二		

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	事務作業時にパソコンを使用	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無

